

材料の選定から、高精度な3次元の金型加工まで一貫体制で提供

南海鋼材株式会社

関西
21

<http://www.nankaikozai.co.jp/>



鍛造金型用予熱装置「予熱くん」

Company Profile

南海鋼材株式会社

住 所 / 〒590-0007
堺市堺区北庄町2-2-10
創 業 / 昭和25年5月
設 立 / 昭和33年12月
資本金 / 1,600万円
従業員 / 130名 (平成21年10月現在)
T E L / 072-233-1525
F A X / 072-233-0172

■主な事業内容

鍛造用金型及び型部品の製造販売、ダイカスト金型部品の製造販売、鍛造プレス用ダイセットの販売、ダイカスト金型用鋳物の加工販売、その他金型及び型部品の加工販売、各種治工具の製造販売、素材形（鍛造、鋳造）及び素形品の販売、海外における金型及び型部品加工委託

■主な取引先

自動車メーカー及びグループ会社、産業機械・建設機械業界、各種プラント等



4軸可能なマシニングセンター

創る商社として、素材調達から金型製品までトータルにサポート

南海鋼材は金型・治工具のスペシャリストだ。素材調達から金型製品までトータルにサポートする「創る商社」として、お客様本位の品質とサービスを提供。とくに精度と短納期が要求される自動車業界の信頼を不動のものとしてきた。従来、メーカーが金型を作る場合、材料業者、熱処理業者、加工業者と個別に発注し管理していた。南海鋼材ではいち早くそれらをすべて一元化し、製品としてメーカーに届けるという一貫体制を整備したのだ。とはいえ、当初は熱処理、加工等は外注に頼っていた。

やがて、大きな転機が訪れる。平成16年2月、本社金型加工センターを設立し、社内製作に踏み切ったのだ。さらに静岡、名古屋、宇都宮と自動車メーカー拠点近くに相次いで加工センターを擁立し、即応体制を整えていった。現在、材料の選定から熱処理、高精度な3

次元の金型加工まで一貫保証のできる企業は、業界広しといえど、日本には数社しか存在しない。

しかも自動車業界は、エコロジー、軽量化、無振動等、常に開発を余儀なくされている。当然、南海鋼材が生産している金型も常に開発の対象となる。そこには、いわば自動車メーカーの心臓部の仕事をお手伝いしているという誇りがある。

モノづくりの原点は営業主導型、お客様のニーズをカタチにする

福原社長のモノづくりの信念、それは「営業主導型」だ。「営業がお客様のニーズをつかむことから、私たちのモノづくりが始まる」。社長自身、今もなおお客様のもとに頻繁に出向く。でなければ、ニーズが見えない、風向きが感じられない。お客様にとって何が必要か感じ、それを実現していく。

そうした姿勢の中から生まれた製品が「予熱くん」だ。熱い鉄の固

まりを金型の上に乗せると、大きな温度差のために、金型にひび割れや変形・歪み等が生じてくる。そこでお客様はバーナーで金型を加熱している。こうした現状を目的、金型をスピーディに安全に予熱する鍛造金型用予熱装置「予熱くん」なのだ。開発にあたっては、おさか地域創造ファンドを活用し、他業種のヒーター会社にも協力を要請。南海鋼材の加工技術を結集し、試行錯誤を重ねてようやく製品化にこぎ着けた。

危険なバーナー作業やその労力・時間から開放されると、すでに大きな反響を呼んでいる。



3次元測定機

当社のセールスポイント

短納期こそが
最高の商品です。



代表取締役
福原 實晴さん

モノづくりで大切なのは品質・コスト・納期ですが、私たちの最優先事項は納期。品質は、要求される水準に達していなければそもそも商品とは呼べない。コストは、品質と納期を守れば多少高くても納めていただける。しかし、納期はヤル気です。3日と言われれば全員一丸で徹夜してでもやる。短納期こそ、最高の商品だからです。その分、従業員一人一人のフォローとして、仕事と家庭生活を両立しながら能力を発揮できる職場環境づくりにも取り組んでいます。